

2017年・春
車内iQOS事情、総決算



最新iQOSグッズ総ざらい

車内で快適に使えるモノはどれ?

KURUMA de iQOS

スタイル・ブック

ここ1年で一気にシェアを伸ばした電子たばこ「iQOS」。カーユースでのメリットも多く、各メーカーも続々とiQOS対応グッズを発表し、iQOSと同様大人気を博しているのだ。そこで今回は各メーカーのiQOS対応グッズを総ざらい。どれだけ快適かつ便利に使えるかをジャンル別に検証してみたいと思う。

iQOS人気と共に
対応グッズも爆発!

一昨年の発売以来、新たな喫煙スタイルとして急速にシェアを伸ばし続けている加熱式たばこ「iQOS」。「に

おいが少ない」「火を使わない」となどカーユースでのメリットも大きく、紙巻きたばこから切りかえたドライバーなども多いはず。ちなみにホルダーも多くの車載用の充電器セットの販売台数は300万台を突破。しかししながら未だに入手困難な状態が続いているので、今後も増えることは確実だ。

そしてiQOSの売り上げが上ると同時に、その周辺グッズも活況を見出していく

る。カー用品では昨夏、いち早くナポレックスがiQOS専用アクセサリーを発売したのを皮切りに、各メーカーも続々と参入。実はこちらも品薄状態になるほど人気を博しているのだ。

どのような商品がラインアップされているかというと、まずは収納&固定グッズ。ホルダーとポケット

チャージャー、ヒートスティックを車内に使いやすく配置するためには必携品といえよう。次はダストボックス。iQOSの専用たばこ「ヒートスティック」は、灰こそ出ないものの吸い終われば吸い殻となり、においも少々残る。密閉率が高くにおいも

C電源用しか付属していない。充電容量がポケット

チャージャーに対応している

かも重要なポイントだ。

そこで次ページから、各用品メーカーのiQOS対応グッズをそれぞれのジャンル別にピックアップ。どのよう

な機能が必要で、+αとして今後どのような機能を追加して欲しいかも含めて掘り下げてみた。

火を使わない



従来の紙巻きたばこが、たばこの葉を燃やして出る煙を吸うのに対して、加熱式たばこ「iQOS」は専用たばこをホルダー内のプレートで加熱。蒸されたたばこの葉から出る、ニコチンを含む水蒸気を吸うというスタイル。高熱にはなるが火は使わないので、吸い殻の後始末の心配がないのだ。

煙が出ない においが少ない



iQOSが発生するのはニコチンを含む水蒸気なので煙は出ず、しかも水蒸気はすぐに拡散するため、狭い車内でも吸ってもにおいは少なく、衣服やシートなどにおいが染みつくこともほとんどない。しかしながら水蒸気とはいってもニコチンを含んでいるため、受動喫煙の危険性は紙巻きたばこと同様と、気配りした方がいいだろう。

灰が出ない



たばこの葉を燃やすないので、当然のことながら灰も発生しない。しかし吸った後のヒートスティックは、焦げたようなにおいのする、まさに「吸い殻」。焦げた葉の残りカスもボロボロと落ちてくるので、密閉性の高いダストボックスに入れて、におい漏れを防ぐようにしたい。

カーユースにおけるiQOSのメリットは?